



地域支援センターだより NO.3

地域支援センターやわた

第2回スキルアップ研修会を実施しました



12月21日（水）、地域支援センターやわた主催の第2回スキルアップ研修会を実施しました。

プール学院大学 プール学院大学短期大学部教育学部教授 石塚謙二氏に「インクルーシブ教育システムとこれからの特別支援教育を考える」という題でご講演をいただきました。保幼・小・中・高等学校、特別支援学校の先生、その他の関係機関の職員の方など、約100名の方々にご参加いただきました。

講義では、授業のユニバーサルデザインと合理的配慮について、体験授業を交えながら、楽しくわかりやすく解説されました。授業のUD化（ユニバーサルデザイン化）を進めるためには、①指導目標や指導内容を**焦点化**する、②自主的・主体的に課題解決できるように**視覚化**する、③論理や知見を、子どもたちが皆で**共有化**する、という3つのポイントが大切であるということをお話いただきました。また、通常学級における特別支援教育においては、「インクルーシブ教育システム」の構築



を目指し、まずは、ユニバーサルデザインの考え方などを取り入れた「包括性のある効果的な指導」を含めた基礎的環境整備を進め、そのうえで、一人ひとりに即した「合理的配慮」を的確に講じることが重要である、とお話してくださいました。

通常の学級の中で、「どの子にもわかる」ように授業を工夫することの大切さを改めて学びました。

感想（参加者アンケートより一部抜粋）

- ・発達課題をもつ児童が増えている中で、全ての子どもが学びやすい環境を用意することは、教師の使命であると改めて感じました。
- ・授業をUD化ということは、「簡単にすることではなく、シンプルにすること」という言葉が印象的でした。障害のある子もない子も、教師の教え方次第で、理解の仕方が変わっていくんだと改めて思いました。今後も自分の授業を見直し、改善していきたいと思いました。
- ・子どもにとってどうなのか、この指示や教材の与え方、準備等、これでよいのか、合っているのかなど、教師側の課題がたくさんあるのではないかと考えさせられました。全ての子に分かりやすい指導の必要性を感じました。